

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

令和3年度実績報告書

## 「まちづくり・お宝バンク」の取組提案 実績（令和3年度）

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っている。

## 1 「お宝バンク」取組提案者の主な活動

令和3年8月

### オンラインで本格的な音楽プログラムをお届けしたい！

**取組提案者：音楽福祉工房はればれ、高齢者福祉施設西院**

提案者同士を京都市が  
マッチング！！

高齢者福祉施設や児童館など幅広い世代のみなさんに訪問音楽コンサートを届けてきた音楽福祉工房はればれ。コロナ禍により訪問コンサートの実施が厳しくなり、新たにオンラインを利用した双方向での音楽体験を届けるプログラムに挑戦されています。今回は、オンラインイベントを主催された経験を持つ高齢者福祉施設西院の協力を得て、オンライン音楽プログラムを実施されました。



令和3年9月～

### 地域の活動拠点を「新大宮広間」がオープンしました！



**取組提案者：(有)キタ商事 代表 荒川朋彦、  
レディーフォー株式会社**

北区紫野エリアの魅力を地域に縁のある人たちで発信していく「むらさきスタイル」プロジェクトに取り組むチームメンバーが、地域の活動拠点をオープンするための資金調達を目指して、令和3年9月にREADYFORにてクラウドファンディングに挑戦し目標よりも多くの協力を集められました。11月には、「新大宮広間」がオープンし、子ども連れの家族でも楽しめる地域の拠点が実現しました。資金協力者がその後も場づくりに一緒に参画していくことができる仕組みにされています。

### 子ども食堂の活動が始まりました！

**取組提案者：深草子ども食堂、NPO 法人えがおの家**

まちづくり・お宝バンク提案者が主催する子ども食堂の活動が、伏見区と右京区でスタートしました。

- 子ども食堂でボランティアをしている大学生を中心に立ち上げ、令和3年7月にスタートした「深草子ども食堂」(伏見区)。親子そろって気軽に参加できる居場所づくりを目指して活動を続けています。
- 令和3年10月からは、「NPO 法人えがおの家」が「キッズキッチンえがおの家」(右京区)をスタート。月に1回の開催を目指して活動している。



令和3年11月

## 「やさしい日本語」リーフレットが完成しました！

取組提案者:「やさしい日本語」を広める会

保育・幼児教育施設で仕事をされている方に向けた「やさしい日本語」のリーフレット（A4判 8頁）が完成しました。外国人の保護者が情報を取りこぼすことを防ぐため、施設の現場で「やさしい日本語」の使用を実践していただけるように、主に上京区の保育・幼児施設へお渡しして活用いただきました。

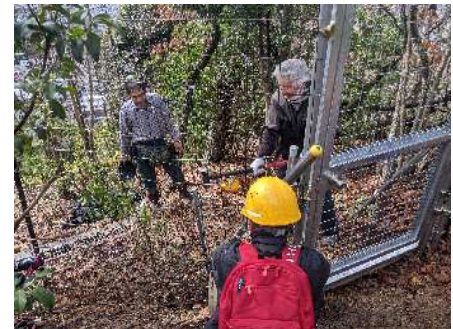


令和4年1月

## シカに食べられた植物を再生し、五山送り火「松ヶ崎妙法」の火床を守りたい！

取組提案者:公益財団法人松ヶ崎立正会、レディーフォー株式会社

シカの増加によりツツジ等の低層植物が食害を受け、地盤が相当に露出している「法」の字山を対象に、63基の点火の火床の周辺四方を囲む遮断柵（防鹿柵）を設置するプロジェクトを行うため、必要な資金を調達するクラウドファンディングに挑戦され、目標額120万円よりも多くの協力を集めることに成功されました。



令和4年3月

## SDGsや京都のまちを学ぶ機会をつくり、学生と地域社会が共創・共生するまちづくりをめざしたい！

取組提案者:学校法人大和学園京都ホテル観光ブライダル専門学校、杉田 博幸 氏

京都市版SDGsボードゲームを授業に取り入れることを目指し、学生有志を対象に体験会を実施されました。その後、教員の方がボードゲームのファシリテーターとなり、他校の授業で活躍するなど展開しています。



## 2 チーム京都の活動

### 「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」の取組

取組提案者: 文化庁京都移転私たちができること推進チーム



「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第1回会議

文化庁京都移転を契機に、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組むため、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員でチーム京都を結成しました。「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え行動することにより、他の市民や様々な団体等に、共に行動する動きが、市民運動的に広がることを目指しています。



「文化庁地域文化創生本部設置記念式典」 松山大耕氏による坐禅体験 マイ文化フォト&ムービーコンテスト

(取組提案者)

笹岡隆甫氏 (未生流笹岡家元), ジャックパイエ氏 (合気道無限塾), NPO法人障害者芸術推進研究機構 (天才アートKYOTO), NPO法人子育ては親育て・みのりのもり劇場, NPO法人劇研, メディア支援センター, ヤッサン一座の紙芝居, 竹内弘一氏 (KBS京都), 松山大耕氏 (退蔵院副住職), 京都学生祭典, 京都青年会議所, 京都商工会議所青年部, 京都市PTA連絡協議会, 京都料理芽生会

(京都市)

文化庁移転推進室, 京都創生担当, SDGs・市民協働推進担当, 文化芸術企画課, 文化財保護課

【チームの取組 (令和3年度)】

- ・「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第7回会議を実施。令和2年度のチーム活動と、令和3年度の取組予定を书面会議にて共有 (R3. 10. 13)
- ・京都市PTAフェスティバル (第24回) において、「文化庁ウェルカム動画」を配信 (R3. 12. 11 PTAフェスティバル専用HP上でオンライン開催)